



2025年3月期 第3四半期

決算説明資料

(ハイライト情報)

2025年1月31日

蝶理株式会社

POINT

中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」を推進

- ・売上高及び各段階利益は、業績予想に対し順調に進捗。
- ・経常利益120億円、税金等調整前四半期純利益127億円、親会社株主に帰属する四半期純利益91億円は、4期連続で過去最高益を更新。

業績概要

- ・前年同期比で売上高は減収ながら経常利益段階以下は増益。
- ・繊維事業は減益も堅調。化学品事業は増益。機械事業は黒字転換。

財務基盤

- ・自己資本比率 **61.7%** 高水準を維持。
- ・ROE^{※1}（年間ベース） **14.3%**
- ・ROIC^{※2}（年間ベース） **10.5%**

※1 親会社株主に帰属する当期純利益ベース

※2 ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本（自己資本 + 有利子負債）期中平均

トピックス

- ・全社業務変革プロジェクト（基幹システム（SAP）導入プロジェクト：通称CARAT）は、トレーニングフェーズに入る。2025年4月からの稼働に向け、予定通り進行中。
- ・化粧品原料販売のノウハウを有するPT. TAKAHA MULTICHEM INDONESIA（在インドネシア）へ出資し、グループ会社化（持分法適用会社）。

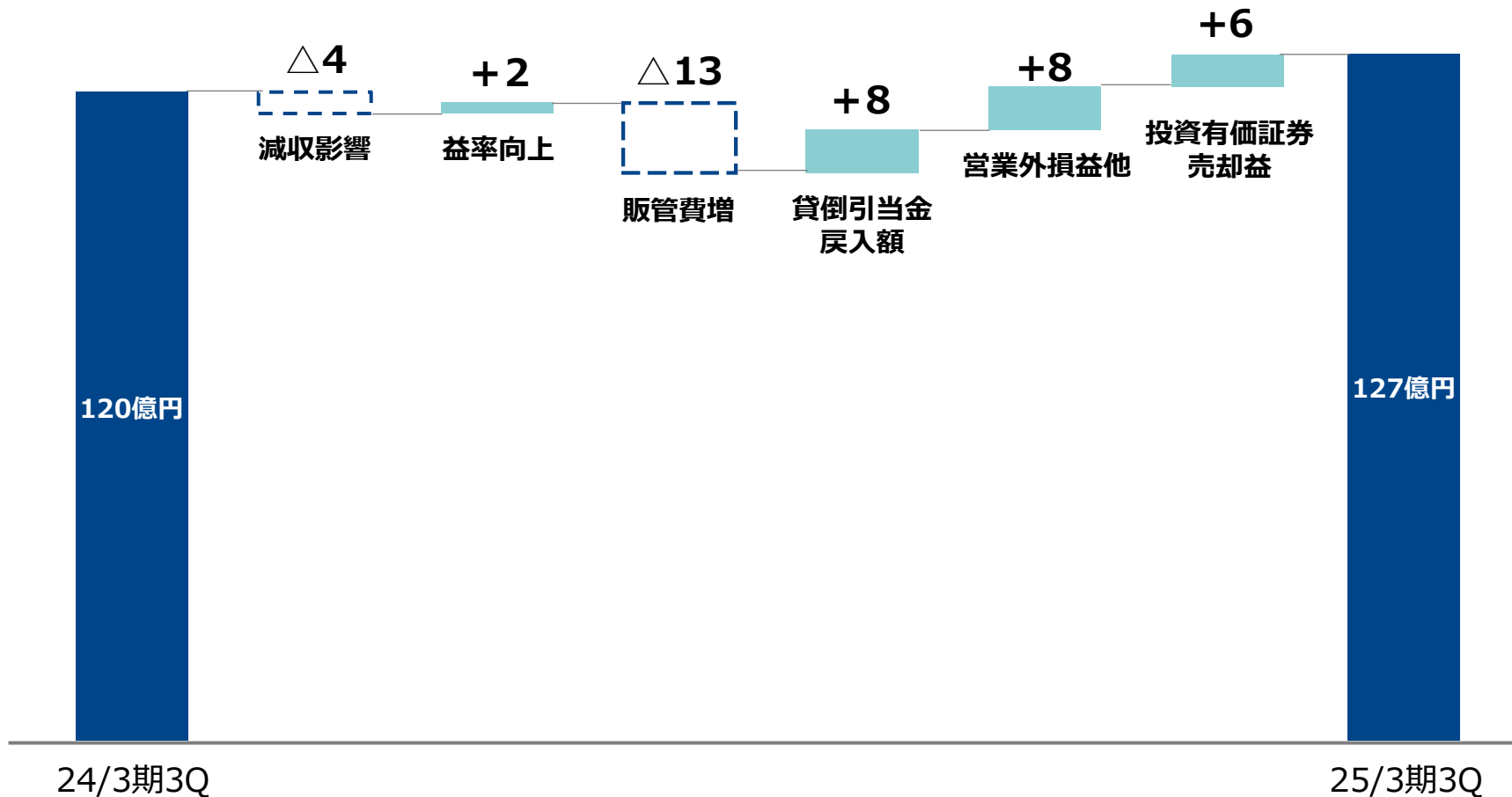
POINT

- 日本経済は、堅調な企業収益を背景とした雇用・所得環境良化により個人消費が改善し、緩やかな回復基調。世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢等の地政学リスク長期化や中国の景気減速感の継続等により先行き不透明な状況。
- 売上高は微減。人件費増加及び大阪本社移転関連費用を主因に販管費が増加し、営業利益は減益。中国の化学品製造会社グループに係る債権の一部回収による貸倒引当金戻入額や投資有価証券売却益の計上により、税金等調整前四半期純利益（セグメント利益）は増益。

	(単位：億円)	24/3期 3Q	25/3期 3Q	増減額	増減率
売上高		2,334	2,303	-31	-1.3%
売上総利益		296	295	-1	-0.4%
販売費及び一般管理費		177	190	+13	+7.3%
営業利益		119	105	-14	-11.8%
経常利益		118	120	+2	+1.7%
税金等調整前四半期純利益		120	127	+8	+6.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益		81	91	+11	+13.1%

税金等調整前四半期純利益の主な増減要因

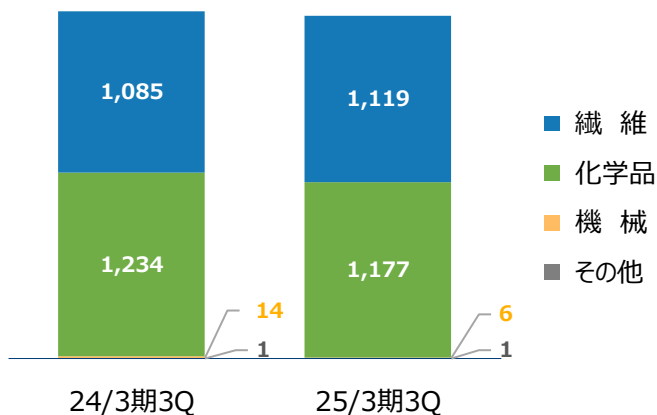
(単位：億円)



セグメント業績

売上高

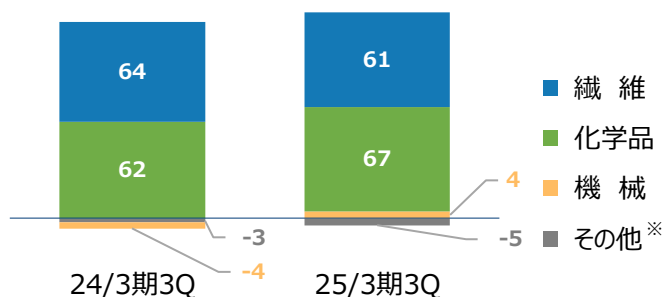
(単位：億円)



	24/3期 3Q	25/3期 3Q	増減額
織 維	1,085	1,119	+34
化学品	1,234	1,177	-57
機 械	14	6	-8
その他	1	1	+0
合 計	2,334	2,303	-31

税金等調整前四半期純利益又は損失

(単位：億円)



	24/3期 3Q	25/3期 3Q	増減額
織 維	64	61	-4
化学品	62	67	+5
機 械	-4	4	+8
その他※	-3	-5	-2
合 計	120	127	+8

※「その他」には調整額を含んでおります。

織 維 増収減益

低調 紳士服・ユニフォーム

堅調 繊維原料・テキスタイル（輸出）・
婦人衣料品

化学品 減収増益

低調 ファインケミカルの需要減退・市況低迷

堅調 パフォーマンスケミカル

利益 貸倒引当金戻入

機 械 減収増益（黒字転換）

回復 為替差損益の改善

POINT

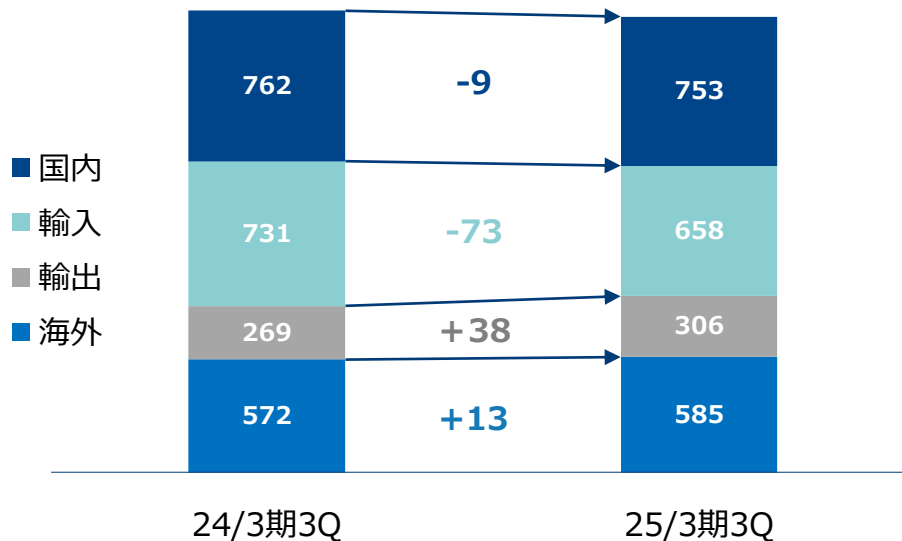
- 国内向け（国内、輸入）が減少。海外向け（輸出、海外）は伸長。
- 貿易比率：67.3%（前年同期比 -0.1pt）

(単位：億円)

売上高	2,334	売上高	2,303
貿易取引	1,572	貿易取引	1,550
(貿易比率)	(67.4%)	(貿易比率)	(67.3%)

増減

売上高	-31
貿易取引	-22
(貿易比率)	(-0.1pt)



国内売上高 日本国内仕入の日本国内への売上高

貿易取引

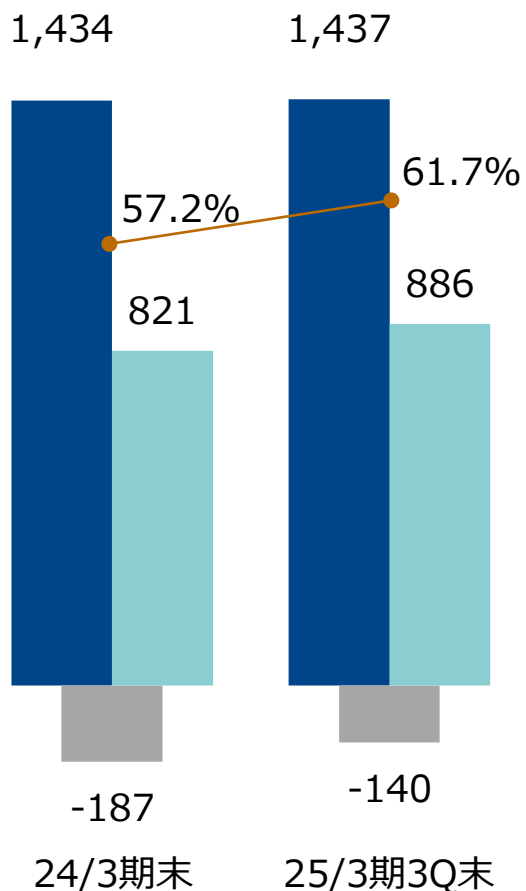
輸入売上高 海外から日本国内への売上高

輸出売上高 日本国内から海外への売上高

海外売上高 海外取引の売上高

(単位：億円)

■ 総資産 ■ ネット有利子負債 ■ 自己資本 ● 自己資本比率



財務健全性

	24/3期末	25/3期3Q末	増減
総資産	1,434	1,437	+3
ネット有利子負債	-187	-140	+47
自己資本	821	886	+66
自己資本比率	57.2%	61.7%	+4.5pt

収益性・資本効率

	24/3期末	25/3期3Q末 ^{※3}	増減
ROA ^{※1}	6.7%	8.5%	+1.8pt
ROE ^{※1}	12.5%	14.3%	+1.8pt
ROIC ^{※2}	12.4%	10.5%	-1.9pt
(参考) ROA (経常利益ベース)	10.1%	11.1%	+1.0pt

※1 親会社株主に帰属する当期純利益ベース

※2 ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本 (自己資本 + 有利子負債) 期中平均

※3 年間ベース

2025年3月期業績予想

POINT

- 2025年3月期業績予想は、期初予想を据え置き。
税金等調整前当期純利益（セグメント利益）は過去最高益を更新し、親会社株主に帰属する当期純利益は100億円への到達を目指す。
- 2025年3月期第3四半期は、業績予想に対し順調に進捗。

(単位：億円)	25/3期 3Q実績	25/3期 予想	25/3期 進捗率	24/3期 通期実績
売上高	2,303	3,200	72.0%	3,077
営業利益	105	150	70.1%	150
経常利益	120	150	80.0%	145
税金等調整前当期（四半期）純利益	127	150	85.0%	147
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	91	100	91.2%	96

2025年3月期配当金

配当の基本方針

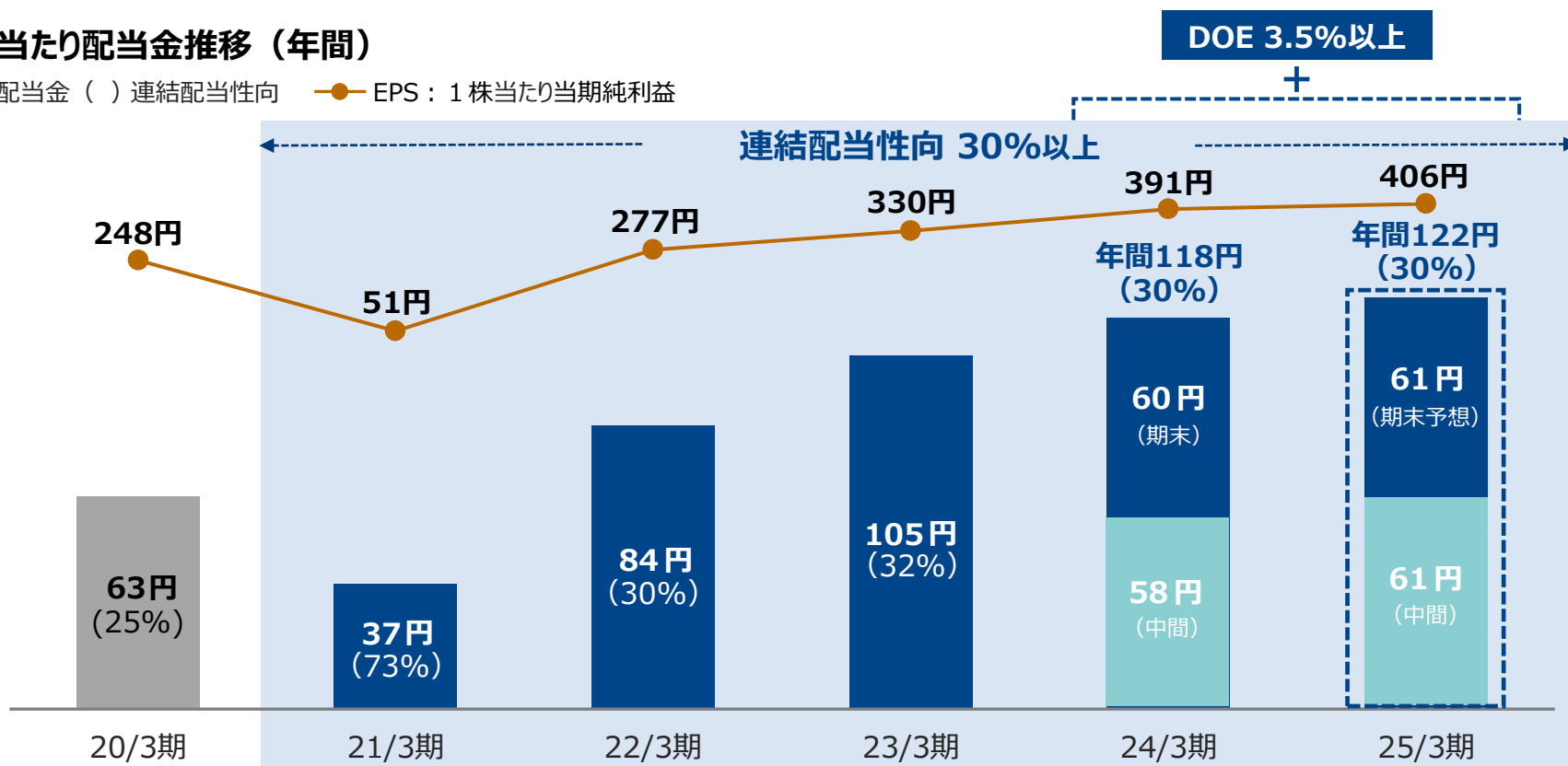
- 株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付け、継続的・安定的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。
- 配当方針：連結配当性向30%かつ株主資本配当率（DOE）3.5%以上

2025年3月期
年間配当予想

2024年4月26日公表の通期業績見通し及び上記配当方針に基づき、中間配当61円を実施。年間配当金122円（期末配当金61円）の見通し。

1株当たり配当金推移（年間）

■ 配当金（ ）連結配当性向 ● EPS：1株当たり当期純利益





あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、
本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。